

兵庫県但馬水産技術センターだより

赤潮情報 TAK-07-03 号

令和7年7月16日発行

7月14日と15日に但馬沿岸(居組～津居山)で有害赤潮プランクトンの臨時調査を実施しました。

【概況】

- ・有害赤潮種シャットネラ・マリーナとカレニア・ミキモトイは確認されましたが、注意基準値を大きく下回る値でした。
- ・赤潮が発生しやすい時期のため、漁船の活け間や活魚水槽の取水などにご注意願います。

【注意が必要な赤潮プランクトンの密度】

シャットネラ・アンティカ、マリーナおよびオバータの合計値	注意体制: 10 細胞/mL	警戒体制: 100 細胞/mL
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	注意体制: 500 細胞/mL	警戒体制: 5,000 細胞/mL



【有害赤潮プランクトン検鏡結果】

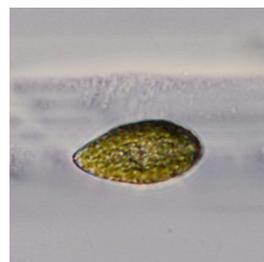
(海水1 mLあたりの細胞数)

調査定点	採水層 (m)	シャットネラ・マリーナ	カレニア・ミキモトイ
陸上からの採水	居組(7/14)	0	1.10
	浜坂(〃)	0	0.04
	三尾(〃)	0	0.02
	餘部(〃)	0	0(<0.02)
	香住(〃)	0	0(<0.02)
	香住漁港東港(7/15)	0	0(<0.02)
	柴山(7/15)	0	0.18
	竹野(〃)	0	0(<0.02)
	津居山(〃)	0	0(<0.02)



【今後の調査予定】

- ・シャットネラが注意基準値未満となったため、通常のモニタリング体制に移行します。



シャットネラ(左)とカレニア(右)の光学顕微鏡写真

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 中村 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・峰、渡邊 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>